

## フクロクヨコバイ *Glossocratus fukuroki* (Matsumura) の 雲月山における採集記録

野崎達也<sup>1)</sup>\*・野崎陽子<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 株式会社ウエスコ, <sup>2)</sup> 倉敷昆虫同好会

### The Hiroshima's Second Record of *Glossocratus fukuroki* (Auchenorrhyncha, Cicadellidae) in Mt. Uzutsuki

Tatsuya NOZAKI and Yoko NOZAKI

**Abstract** : In Hiroshima Prefecture, *Glossocratus fukuroki* (Matsumura) has been reported only once in Mt. Haigamine, Kure-city in 1965. We've succeeded in reporting the second occurrence of the species in Mt. Uzutsuki, Kitahiroshima-cho.

#### 報告

フクロクヨコバイ *Glossocratus fukuroki* (Matsumura) (半翅目, ヨコバイ科) は, 国内では本州, 四国, 九州に分布するが産地はきわめて局限され, 環境省が公表したレッドリストでは準絶滅危惧に選定されている (環境省 2007). 広島県においても例外ではなく, 原色昆虫大図鑑「朝比奈ほか 1965」に図示された呉市灰ヶ峰産の 1 標本が知られるのみである.

フクロクヨコバイは, ススキ *Miscanthus sinensis* をホストとするため, 一見すると広域分布種の感がある. にも関わらず生息地が局限される要因は, メスが短翅型で飛翔能力がなく, 分散能力が著しく劣るためである. 加えて, かつて里山に成立していた草原環境の管理放棄 (アンダーユース) や, 各種開発行為 (オーバーユース) が生息地の減少に拍車をかけている.

こうした背景にあって, 筆者らは, 広島県レッドデータブック改訂に向けた調査の一環として, 本種の現状を調査する機会を得た. 本調査では, 既知の産地である呉市灰ヶ峰 (737m), 及び北広島町雲月山 (911m) の 2ヶ所で採集を試み, 雲月山で広島県 2 例目となるフクロクヨコバイを確認したので, これを報告する.

1 ♂, 北広島町雲月山 (E132° 14', N34° 48'), 19.VII.2010

3 ♀, 北広島町雲月山 (E132° 14', N34° 48'), 6.VIII.2010

本種が確認されたのは, 雲月山東斜面にある雲月牧場のススキ草地である. 第 1 回調査は 2010 年 7 月 19 日に行い, オス 1 個体を得た. その後, 埼玉大学 林正美教授ら一行が西中国山地に調査採集に来るとの報を聞き, 情報提供と調査依頼を行ったところ, 2010 年 8 月 6 日にメス 3 個体を得たとの報告を受けた. 更に, 第 2 回調査を 2010 年 8 月 8 日に行ったが, その際には未確認となった. 以上の一連の調査で, 雌雄合わせて 4 個体を得られ, 生息環境も良好なことから, 当地は比較的安定した生息状況にあると考えられた. その一方, いずれの調査でも 1 個体を採集するのに 2 時間以上を要し, 極めて採集効率が悪いことから, 生息密度は極めて低いと考えられた. なお, 既産地である呉市灰ヶ峰については, 2010 年 7 月 25 日に調査を行ったものの再発見には至っていない. 採集標本は, 筆者, 埼玉大学生物学研究室, 九州大学昆虫学教室でそれぞれ保管している.

雲月牧場のススキ草地は, 毎年春に行われる火入れによって維持されており (佐久間・白川 2008), 各地の生息環境が悪化しつつある中で, 長期的な安定が見込める貴重な生息地である. これは同時に, 適切な維持管理によ

て草原環境の保全を目指す上で、フクロクヨコバイが有効な指標となることを示唆するものと言える。今後、広島県における新たな生息地が発見され、フクロクヨコバイを含む多様な草原性種の保全が一層進むことを期待したい。

末筆ながら、調査に協力いただいた広島県レッドデータブック改訂委員会 昆虫分科会の坂本 充氏、亀山 剛氏、採集データを提供いただいた埼玉大学 林正美教授、九州大学 大原直道氏、澤田宗一郎氏にこの場を借りて深謝する。

#### 引用文献

朝比奈正二郎・石原 保・安松京三（1965）原色昆虫大図鑑（蜻蛉・直翅・半翅・膜翅他 篇）。北隆館。  
環境省（2007）昆虫類レッドリスト。平成 19 年 8 月 3 日 環境省報道発表資料  
佐久間智子・白川勝信（2008）雲月山火入れ草地の維管束植物。高原の自然史（13）：11-33。



A : 生息環境 (雲月牧場と雲月山を望む)  
B : フクロクヨコバイ ♂  
C : フクロクヨコバイ ♀ (大原直道氏提供)

2010年8月8日撮影  
2010年7月19日採集  
2010年8月6日採集